



八王子地本申第3号

「2024年3月ダイヤ改正に関する申し入れ」

団体交渉を行う！！その②

6～10 項目

組合

6. 「その他時間」を行路内の一部時間に指定した際は「駅・企画業務」の内容ならびに在勤地などを具体的に示すこと。

新たな価値の創造とは何か。

駅の勤務は経験やノウハウ等が必要となり、決して片手間でできるものではない。

7. 駅職場における作業ダイヤ作成の際は、ワーキンググループ (WG) だけではなく、従事する社員の意見を十分に反映した作業ダイヤに設定すること。

WG がブラックボックス化しているのでボトムアップのように見えるが職場からすれば結局はトップダウンだ。WG メンバーは公募にするべきだ。

8. 青梅線の青梅～奥多摩間ワンマン運転において、運転士が、運転・ドア操作・放送案内・無人駅での車いす対応と役割が多くあることから、集中力を維持するために連続2往復の行路を見直すこと。

雪害対応の時は大変苦労した。どちらかを青梅～立川とかに出来ないか？二往復連続乗務がラクだという声はあるのか？

9. 中央線特急ご利用のお客さま増大に伴い、一人乗務による車内改札業務が全車両行えない現状にあるため、車内改札行路を活用のうえ車内改札要員を確保し料金逋脱防止を図ること。

改札行路を活用して車内改札全車両終わらないことがあるということは把握しているのか

10. 武蔵野運輸区の寢室の数を現状に合ったものにする。

寢室の数は具体的にいくつあるのか。

内覧は誰が対象なのか。

会社

6. 柔軟な働き方を実現していくために、系統や事業分野を超えた業務の融合や、兼務・連携はこれまで以上に進めていく。なお、今後も業務の融合と連携を推進し、一人ひとりの社員が自分の能力を伸ばし活かせるような働き方を実現し、更なる生産性の向上を図ると共に新たな価値創造に取り組んでいく考えである。

その他時間の指示業務については出勤時に指示することとなる。内容については検討中である。新たな価値とは柔軟な働き方の実現を目指すものである。

7. 社員の意見等を参考にしつつ、より良い作業ダイヤとなるよう見直しを行っている。

一人ひとりが参画していくことは大切だが現行は公募制ではなく WG を発足している。組合の声は受け止める。→確認

8. 乗務員勤務制度の趣旨を踏まえ、多様な働き方と効率性の実現を勘案しつつ、乗務割交番作成規程に基づき行路作成している。

様々な意見を反映して行路を作成している。2往復の行路がきついという声は把握している。二往復連続がラクという声はつかんでいない。

9. 新たな着席サービスが定着し、車掌の車内巡回・改札業務が変化したことから乗務体制の見直しを行っているものである。なお、引き続き、お客さまのご利用状況等は把握していく考えである。

ご利用が多い時は改札に入れないという声を日報で挙げてもらっている。お客さまで料金の逋脱に差があってはいけないという認識は一致した。

10. 業務の運営に必要な設備等は整備していく

具体的に寢室の数を示すことはできないが前泊の人も泊まれる分は確保している LGBT に配慮した設備も対応している。2月下旬から武蔵野運輸区配属者など関係する人対象に職場の内覧会を行っていく。

その③へ続く